

# 「読みたい本がそろったよ！」

## ～学校図書室における整備と活性化について～

大 阪 市 立 梅 南 中 学 校  
学校元気アップ地域コーディネーター  
稻瀬 美幸

梅南中学校の元気アップ地域コーディネーターをしております稻瀬と申します。どうぞ、よろしくお願いします。本日は、「梅南中学校図書室における整備と活性化について」発表させていただきます。梅南中学校は、平成25年4月に学校元気アップ地域本部事業が、発足しました。元気アップの取組みとして、学習支援と図書室の活性化の支援を中心に活動しています。学習支援の取組みとして、毎週土曜日の午前中「サタディワーク」と名付けて、学習支援ボランティアをお招きして、自学自習方式の学習会を実施しています。

図書室の整備と活性化の取組みとして、平成25年4月に校長から図書室の整備を依頼されました。当時、学校は生徒が落ち着きのない状態で、先生方は生徒の対応に追われる日々が続いていたために図書室の整備に手が回らず、図書室の環境は良くない状態でした。最初に、図書室のカーテンを洗濯しました。開校時から1度も洗ったことのないカーテンは破れ、汚れも落ちなかつた事を先生に報告し、新しいカーテンの購入手続きの依頼をしました。掃除はもちろんのことですが、手始めに乱雑に並んだ本と本棚の整理から始めました。図書部の顧問の先生と生徒達に、図書室にある7千冊の中から不要な本の選択の協力依頼をしました。何年も触っていない本ですので、手は真っ黒になり、ほこり塗れになりながら、約半年間、放課後等の時間ごとに一緒に作業しました。不要な本の最終確認は図書部の顧問の先生にしていただきました。その後、元気アップのメンバーで、大量的の不要な本を図書除籍簿に記入後、束ねて図書準備室に移動させました。次に、本棚の移動と本の陳列作業に入りました。本の陳列についてですが、平成25年11月に校長のはからいで、教育委員会学力向上グループの司書の先生に梅南中学校に来ていただき図書室の本の陳列方法などのご指導いただきました。

(ご指導いただいた事を、まとめてみたので、スクリーンをご覧ください。)

1. 図書の分類法
2. 古い図書は表紙のカバーを外して、きれいに見せる。
3. おすすめの本は陳列のポイントとして、表紙を見せるようにする。

4. おすすめの本や話題の本などの、コーナーづくりをする。
5. 日本文学は冊数が多いので、作者をあいうえお順に並べて、差込掲示板を作成し、本を探しやすくする。
6. 低い本棚を活用し、机の配置を変える。
7. 生徒の作品やポスターを掲示する。
8. 中学生に人気のある本を紹介する。
9. 図書室の見取り図の見本を紹介する。

以上の項目を順番に作業していきました。学校長をはじめ、教職員の皆さん、生徒達の協力のもと、約1年間で図書室の整備が終了しました。

「ここで、梅南中学校の図書室をご覧下さい。」(図書室の写真を用意)

次の課題として、図書室の活性化についてお話をさせていただきます。平成26年1月頃に、元気アップから学校長に昼休みの図書室開放の提案をさせていただきました。梅南中学校では、週に3日（月、水、金）文化委員会の取組みとして、昼休みの図書室開放をしていました。そこで、残りの2日間（火、木）を元気アップの担当で図書室開放することになりました。当時の図書室開放の様子ですが、文化委員の図書室開放は、長年の取組みとして定着していることもあり、利用している生徒は平均して10名以上いました。元気アップで図書室開放を開始するにあたって、全生徒に「昼休みは、図書室を毎日開放しています」という内容の手紙を配布しました。しかし、元気アップ事業に対する周知も低く、図書室に来る生徒は初め2~3人位でした。何か対策がないかと考え、平成26年3月に、地域のボランティアの方に依頼をし、読み聞かせをしていただきました。梅南中学校では、昼休みの図書室開放を利用しての読み聞かせをするのは、初めての取組みでした。少し不安でしたが、参加した生徒達はしっかりと聞いていました。当日は先生方も来ていたとき、12名の参加となりました。

「読み聞かせの様子をご覧ください。」(写真 )

その後も、火曜日と木曜日の図書室開放の生徒への周知は、あまり進まない日々が続く中、平成26年4月に、教頭先生から職員会議に出席して元気アップの活動の報告をするようご提案いただき、職員会議でサタディワークや図書室開放の活動報告をさせていただくようになりました。夏休みには、先生方に図書室の本のデーターを2~3週間かけてパソコンに、入力していただきました。そして、元気アップとして、新しい本の選択と購入リストの作成を担当させていただくようになりました。本の選択をするにあたって、「子ども達が希望する本がある図書室に！」と考え、「元気アップ図書だより」を発行し、その中で希望する本を募集しました。図書室のカウンターに「リクエストブックカード」を設置し、いつでも生徒がほしい本を記入できるコーナーをつくりました。自学自習に役立つ本は、先生方に協力の依頼をしました。元気アップとしても、本屋大賞受賞の本や話題のドラマや

映画の原作本等を調べた後、購入リストを作成しました。早々に購入手続きをさせていただき、10月以降、4回に分けて新しい本471冊が学校図書室に納入されました。そこで、新刊コーナーをつくり新しい本を見やすくしました。

その結果、図書室開放に本を読みに来る生徒は増え始めました。一部の生徒からは、「図書室に新しい本いっぱいある」、「映画の原作本や」、「この本、読んでみたい」「ほしい本あるからリクエストブックカードに書いとくわ！」など話かけてくれるようになりました。本の貸し出しも増え始めたので、図書室の本の貸し出しと返却のルールを再確認するために、文化委員会担当の先生と連携をとり、『図書だより』を発行して全生徒に配付しました。ボランティアの方も少人数ではありますが、毎週のように学校に来て、図書室の開放の支援をしていただいている。昨年度からは、梅南中学校図書室は、昼休みの図書室開放だけではなく、先生方の授業でも活用していただいている。また、図書部の活動も週に2日から3日に増え、楽しい時間を過ごしています。他にも図書室では、『サタディワーク』『放課後学習会』『ブロック連絡会』や元気アップ主催の講座（生徒・保護者対象）の会場としても活用しています。

(ここで、図書室での取組みの様子です。スクリーンをご覧下さい。)

以上の図書室の整備と活性化は、校長はじめ、教職員の皆さん、クラブの生徒達、文化委員会の生徒達、図書ボランティアの方々の協力なしでは、できませんでした。最後に、梅南中学校図書室の課題として、『放課後の図書室開放の充実』『図書部・文化委員会との連携』『図書バーコード化』『情報の多様化による本の選択の難しさ』等がありますが、地域コーディネーターとして、『居心地のいい図書室』めざして今後も支援していきたいと思います。本日は、ありがとうございました。